

分科会② 地域でつなぐこどもの居場所

分科会の論点

コーディネーター

芝浦工業大学環境システム学科

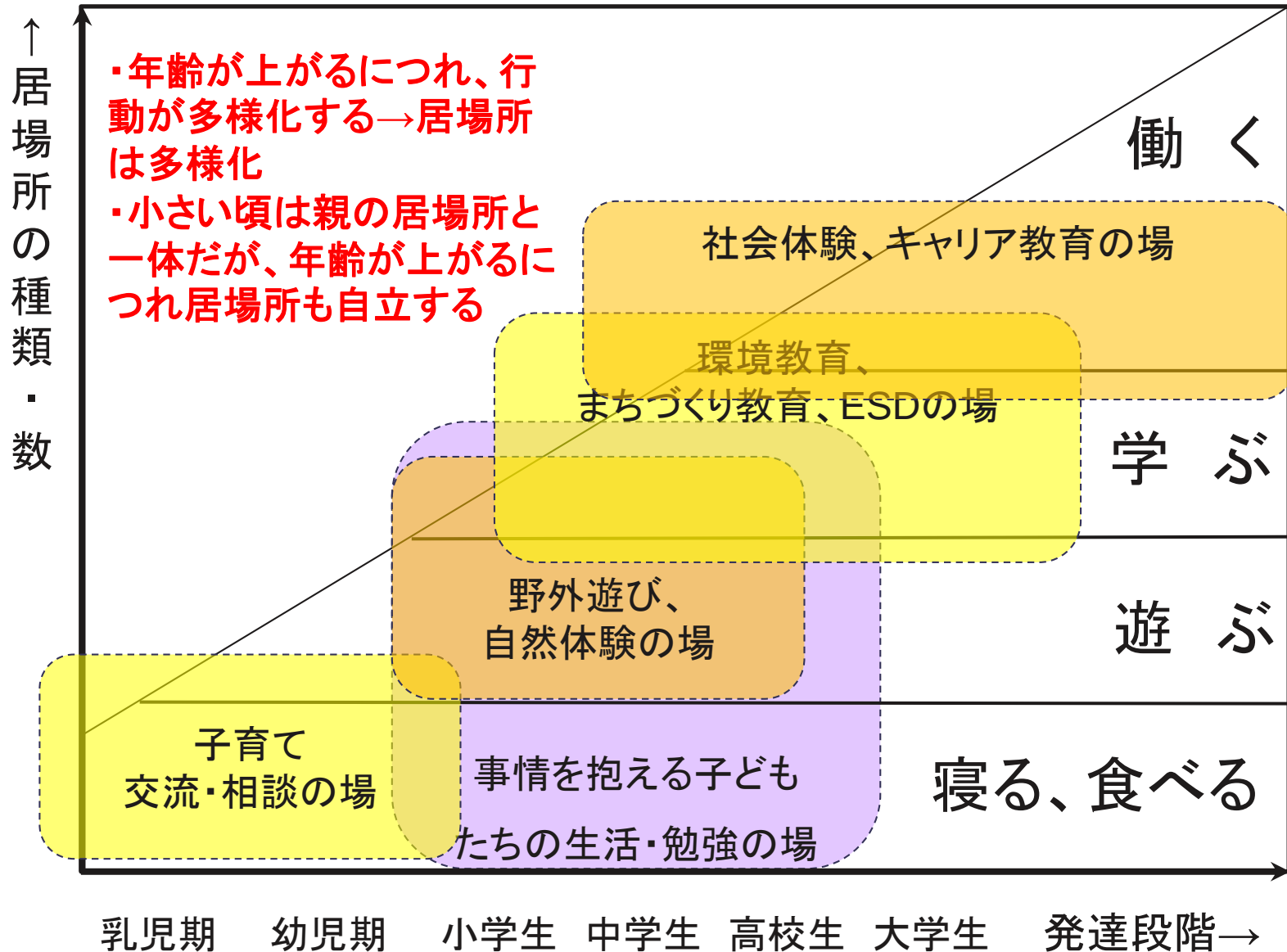
中口毅博

なぜ「子どもの居場所」を取り上げるか？

▶ キーワード：貧困、格差、生きる力



子どもの居場所とは何か？

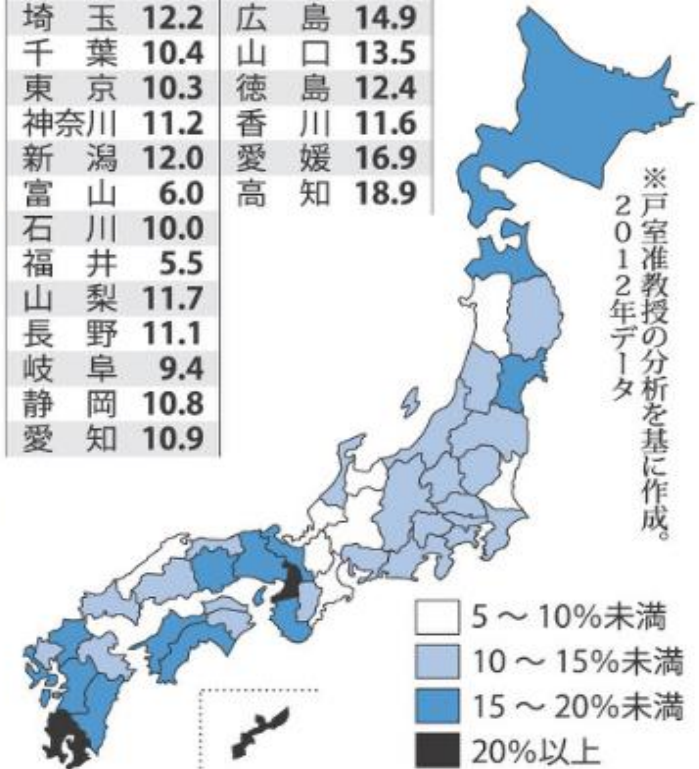


都道府県別子どもの貧困率

- ▶ 首都圏が高い
- ▶ 埼玉県は一都三県の中では最悪

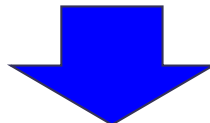
都道府県別の子どもの貧困率（数字は％）

北海道	19.7	三重	9.5	福岡	19.9
青森	17.6	滋賀	8.6	佐賀	11.3
岩手	13.9	京都	17.2	長崎	16.5
宮城	15.3	大阪	21.8	熊本	17.2
秋田	9.9	兵庫	15.4	大分	13.8
山形	12.0	奈良	11.7	宮崎	19.5
福島	11.6	和歌山	17.5	鹿児島	20.6
茨城	8.6	鳥取	14.5	沖縄	37.5
栃木	10.4	島根	9.2	全国	13.8
群馬	10.3	岡山	15.7		
埼玉	12.2	広島	14.9		
千葉	10.4	山口	13.5		
東京	10.3	徳島	12.4		
神奈川	11.2	香川	11.6		
新潟	12.0	愛媛	16.9		
富山	6.0	高知	18.9		
石川	10.0				
福井	5.5				
山梨	11.7				
長野	11.1				
岐阜	9.4				
静岡	10.8				
愛知	10.9				

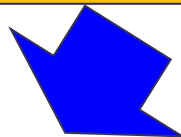


居場所づくりの阻害要因(埼玉県の場合)

- ◆「埼玉都民」、自宅にいる時間が短い
- ◆核家族、アパート住まいが多い



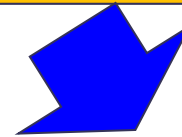
地域でのつながり・人間関係の希薄化
地域での見守りが消失



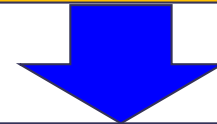
孤立化→
「孤育て」



子育てを共有する場がない



クレームの増加
当事者意識の希薄化

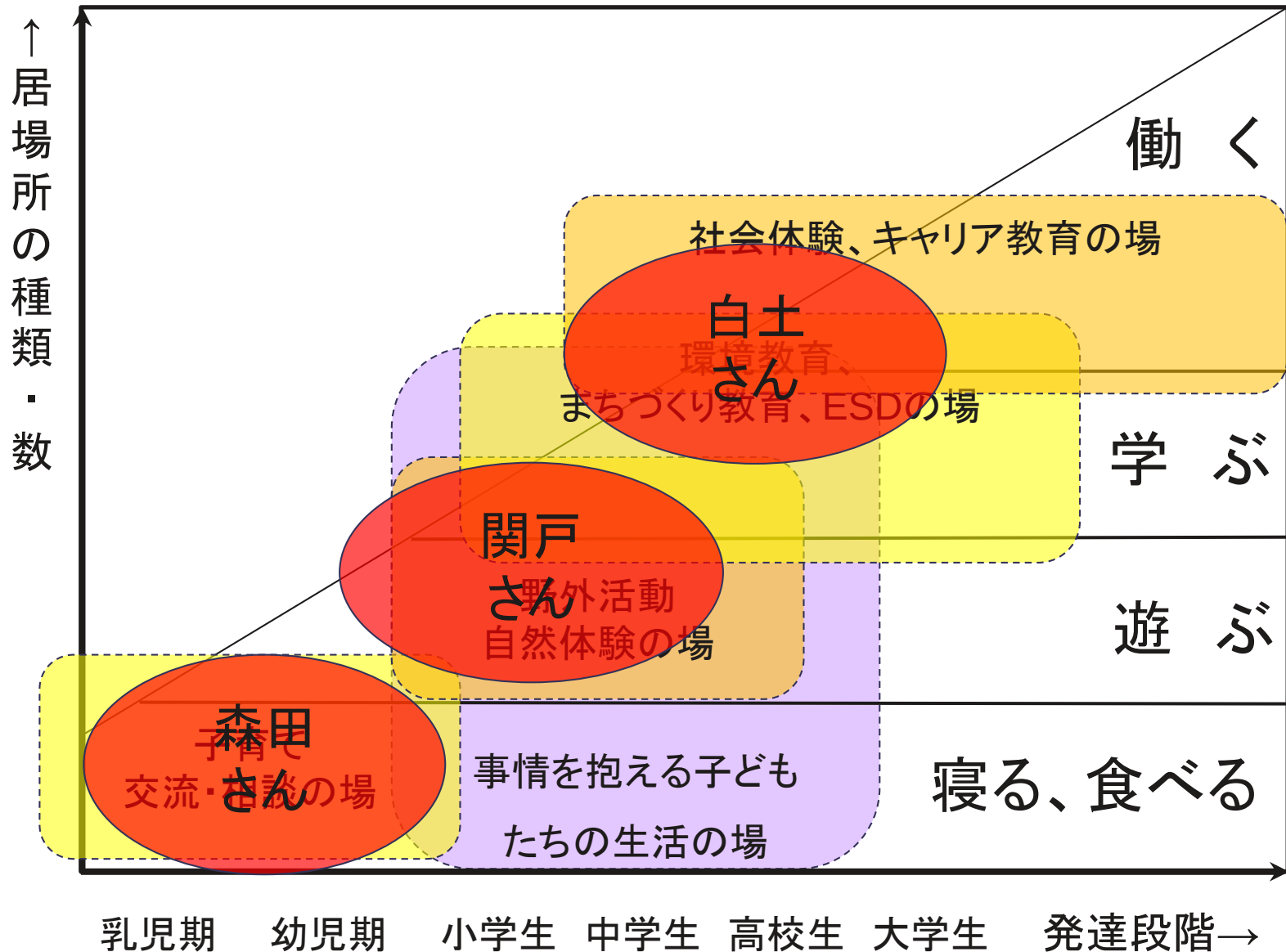


子どもの遊び場、学びの場がなくなる

AKB分科会の論点

- ▶ 子育てを共有する場、遊び場、学びの場をどうやって確保するか
 - ▶ 孤立化を防ぐ手立ては？
 - ▶ 地域内のつながり(親のつながり)を回復する手立ては？
- ▶ 子ども目線で居場所を考えるべき → 価値観・行動の「押しつけ」にならない居場所づくりとは？
 - ▶ 子どもの「生きる力」(思考力、判断力、表現力、適応力など)を育む、主体性が発揮できる場になっているか？
 - ▶ 子どもの未来の選択肢の公平性が確保されているか？
- ▶ 大人や地域の視点から「居場所」を考える
 - ▶ 大人も一緒に達成感を味わう・楽しむほうが持続する→その方法は？ WinWinアプローチはあるのか？
 - ▶ 都市内の空洞化・農山村の過疎化等の課題解決のため、地域づくりの担い手を確保したい→その方法は？

解決策の事例：3人の話題提供



AKB分科会のプログラム

- ▶ 論点提起(10分)
 - ▶ コーディネータ: 中口毅博(芝浦工業大学教授)
- ▶ 事例報告(20分×3=60分)
 - ▶ 報告者①: 森田圭子(NPO法人わこう子育てネットワーク代表理事、NPO法人ホームスタートジャパン副代表理事)
 - ▶ 報告者②: 関戸博樹(NPO法人あさかプレーパークの会プレイリーダー、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会理事)
 - ▶ 報告者③: 白土真二(川越蔵の会副会長兼事業部長)
- ▶ フロアからの補足・パネルディスカッション(40分)
- ▶ コーディネータ総括(5分)

論点と登壇者の関係

- ▶ 子育てを共有する場、遊び場、**学びの場**をどうやって確保するか
森田さん
- ▶ 孤立化を防ぐ手立ては？
- ▶ 地域内のつながり(親のつながり)を回復する手立ては？
- ▶ 子ども目線で居場所を考えるべき→**価値観・行動の「押しつけ」**にならない居場所づくりとは？ 関戸さん
- ▶ 子どもの「生きる力」(思考力、判断力、表現力、適応力など)を育む、主体性が発揮できる場になっているか？ 森田さん
- ▶ 子どもの未来の選択肢の公平性が確保されているか？ 森田さん
- ▶ 大人や地域の都合もある→WinWinアプローチはあるのか？
- ▶ 大人も一緒に達成感を味わう・楽しむほうが持続する→その方法は？ 白土さん
- ▶ 都市内の空洞化・**農山村の過疎化**等の課題解決のため、地域づくりの担い手を確保したい→その方法は？